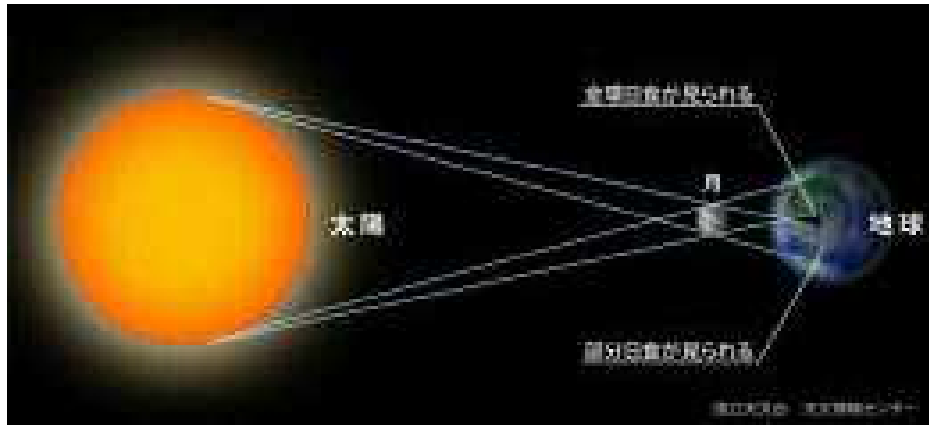


【5月21日 金環日食がoccurs】

5月21日、6時20分ころから9時ころまでの時間帯で金環日食がoccurs。

次に日本で金環日食が見られるのが、2030年6月1日で18年後です。とても珍しい現象で、その日が待ち遠しい人も多くいます。

それとともに、各地天文台や眼科医などそれぞれの専門家が日食網膜症の多発を心配しています。



本校でもPTA総会でのあいさつの中で、太陽を直接見ない、間違った方法で見ない、登校中に太陽を見ない等のことを家庭でも繰り返し子どもたちに伝えていただくことを依頼しました。

また、5月7日の朝礼でも、以下のような写真(他4枚を使用)を使って、あやま

<日食が起こるしくみ>

った観察をすると目に障害がでてしまうことになるので、十分注意することについて話しました。

金環日食当日まで、機会をとらえて、太陽を直接見ないこと、安全に登校することについて繰り返し話していただきます。



国立天文台ホームページから

金環日食の最中も含め、どんなに太陽が欠けた状態でも太陽をそのまま直視してはいけません。また、日食専用グラスの代用品として以前から使われてきた下敷き、すずを付けたガラス、色ガラス、サングラスやゴーグル、感光したカラーネガフィルム、カメラ用のND(減光)フィルターなどを通して直視することは極めて危険です。目には見えない有害な光が目の奥に届いて網膜を傷つけ、その結果、失明したりする可能性があります。過去の日食においても、上記のような危険な方法で児童・生徒に観察させたため、網膜が傷ついた等の事例が複数報告されています。

【白井八重桜まつりが行われました 4月22日】



【山車 お囃子】

お祭りが中止になり、1年ぶりの開催でした。子供たちも楽しみにしていたお祭りも終わり間際まで雨も降らず武者行列もでき、十分楽しめたと思います。

地域の行事の素晴らしさを感じるとともに、普通の生活ができることに感謝しなければという気持ちを持ちました。

4月22日、白井宿で「八重桜祭り」が行われました。当日は肌寒く、また、例年よりも寒かった今年は、八重桜も咲き始めて花が咲いている木々が少ない状態でしたが、多くの人たちが祭りに来ていました。本校の子供たちも、山車のお囃子で太鼓をたたいたり、武者行列に参加したりしていました。また、多くの出店が出ており、白井地区以外の子供たちもたくさん八重桜祭りに来ていました。



【武者行列】

【1年生を迎える会を行いました 4月23日】



【6年生と入場した1年生】

は終わりました。

すべてを終えた1年生が、6年生とまた手をつないで退場しました。入場した時の緊張した表情が1年生も、6年生もほっとした笑顔に変わっていました。

1年生は初めての体験に緊張し、6年生は最上級生としての責任に緊張していたのでしょう。

4月23日に、全校児童で「1年生を迎える会」を行いました。6年生のお兄さん、お姉さんと手をつないで、花飾りのアーチをくぐって体育館に入りました。

全員で長尾小の校歌を歌いました。2年生から6年生の児童の「歓迎の言葉」に続き、1年生が大きな声で「よろしくお願ひします」と言うことができました。

最後に「1年生になったら」を歌って、「1年生を迎える会」



【歓迎のことば】

【子持山山開きに園芸委員の児童が参加しました 5月1日】



【募金活動に取り組む様子】

多く来場していました。

また、子持中学校の生徒は、部活動ごとに班になって歩いて、途中ゴミ拾いの奉仕活動を行いながら登ってきました。今年長尾小学校を卒業した1年生も真っ赤な顔をして登って来ていました。

地域の多くの子供たちが参加して行われる伝統的な行事が残っている子持地区の素晴らしさを感じることができました。

5月1日に、子持山の山開きが行われました。子持地区3校の小学校の児童の代表が参加して、緑化運動の募金を行い、寄付をいただいた人へ苗木を渡す仕事をしました。本校からは園芸委員の6名の6年生が代表として参加しました。当日は、いつ雨が降るか心配な天気でしたが、子供たちが活動している間は、雨も降ることもなく募金活動を行うことができました。

子持山神社では、神楽が行われ、出店もたくさん出ていました。本校も家庭訪問期間中であつたので園芸委員の代表以外の子供たちも



【子持神社 神楽】